

# 県都デザイン戦略

概要版

## 県都デザイン戦略

概要版

### 福井県総合政策部政策推進課

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1  
TEL: 0776-20-0225 FAX: 0776-20-0623  
E-mail: seisaku@pref.fukui.lg.jp

### 福井市総務部政策調整室

〒910-8511 福井市大手3丁目10-1  
TEL: 0776-20-5283 FAX: 0776-20-5768  
E-mail: seityou@city.fukui.lg.jp

発行：平成25年3月

平成25年3月  
福井県・福井市



## 目的

県都福井は、戦災、震災から60年余りが経過し、建物やインフラなど都市全体がリニューアルの時期を迎えている。また、福井国体が開催されるほか、北陸新幹線の県内延伸、高規格道路の整備など高速交通体系が大きく進展する。福井市が県都として魅力を高め、経済、観光、文化の面でも県内各地をリードし、福井県全体の都市力を向上させていく必要がある。一方で人口減少や超高齢化等の課題に対応し、都市の拡大を見直すなど、新たな見地に立ったまちづくりを行う必要がある。

このため、福井市都市計画マスタープランにおける「まちなか地区」を中心に、長期的な視点を持って都市の再設計を構想し、次の時代に受け継ぐ県都のまちづくりについて、指針となる考え方を示す。

## 位置付け

本戦略は、行政、県民・市民、企業、団体等、全ての県都のまちづくりに関わる主体が、県都の将来像を共有し、具体化を目指すものである。そのために、県都の目指す姿と実現イメージを提示し、まちづくりの方向性と具体的方策を示す。

行政と民間が協働し、プロジェクトを具体化するなかで、県民・市民の県都への誇りと愛着、新たな文化や芸術、創造性が育まれるとともに、豊かな生活の場をつくる推進力となる様々な社会・経済活動が生まれることを期待する。

特に、目前に迫った福井国体までを目標に、先導的に実施するプロジェクトを明確化し、今後、中長期にわたり積み重ねるまちづくりの第一歩とする。長期的なプロジェクトについては、経済社会状況の変化に対応して、将来の世代が具体化の議論を深め、実現を目指す。

目標年次 **2050年**

短期目標年次 **2018年** (福井国体開催)

中期目標年次 **2025年** (北陸新幹線敦賀開業)

### 県都の目指す姿の実現イメージ

#### 福井城址を核とした憩いと創造の空間が、県都の顔となる

最も重要な歴史資源である福井城址を核として憩いと創造の空間を形成、周辺都市空間を再構築し、県都の顔をつくる。



#### 幕末等の歴史資源がつながり、県都の歴史を物語る

歴史資源やその周辺の魅力を向上させ、それらをつなぐ動線を強化し、歩きながら歴史を体感できるまちをつくる。



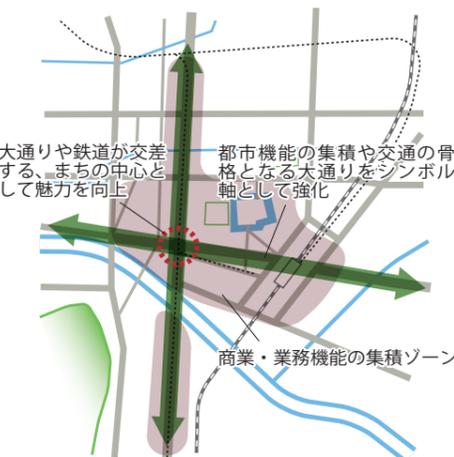
#### 地区ごとの魅力が、都市全体の個性を向上させる

県都の個性を高めるために、発展の歴史や生業、地形、顔となる駅周辺など、特徴を活かし、地区ごとの魅力を高める。



#### まちの象徴となる大通りが県都に風格とメリハリを与える

明解な都市構造を実現するために、都市機能の集積や主要な交通の骨格として、まちの象徴となる大通りをつくる。



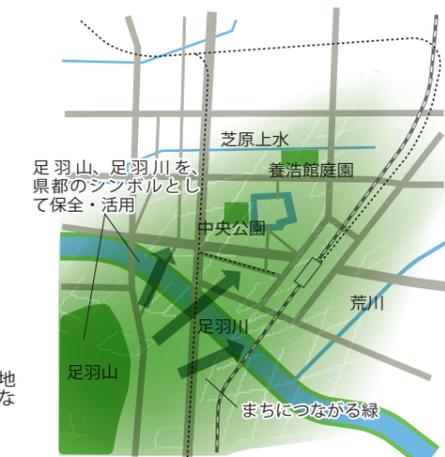
#### 集約された都市機能と高い利便性が、多様な人を集める

都市機能を集約し、公共交通や様々な手段での交通移動利便性を向上させ、人が集まるまちをつくる。



#### 足羽山、足羽川がシンボルとして際立ち、まちに緑がつながる

自然豊かな福井を象徴する県都とするため、足羽山、足羽川を自然のシンボルとして保全・活用し、緑をつなげる。



## I 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する県都

積み重ねてきた歴史の重層性を実感できるまちは、住む人には誇りを、訪れる人には感動を与える。そのため、城下町の歴史や近代化による都市の発展、戦災・震災からの復興の記憶など、積み上げてきた地域の歴史を掘り起こし、目に見えるかたちで都市の個性を高め、次代へ継承する。

また、若者など多様な世代を惹きつけ、次の時代につながるまちの魅力を高めるためには、歴史と伝統のもとに、常に新たな文化を創造・発信する文化力の向上が必要である。そのため、福井県内の確かなものづくりや工芸デザイン、食文化を体感でき、まちなかにおいて芸術・文化等、豊かな感性に身近に触れ合うことができる創造的な都市を実現する。

## II 美しく持続可能な都市

人口減少、超高齢社会の本格化を迎え、誰もが暮らしやすく、移動しやすい、都市経営コストが縮減された集約型の都市を形成する必要がある。そのため、かつての城郭の範囲に駅や行政、商業機能が配置されたコンパクトな都市構造を県都の特徴として維持し、建物や都市インフラの更新時期を捉え、既存ストックを有効に活用しながら、都市機能等の集約化を図る。また、住みたい、訪れたい、働きたいと思える県都を実現するため、現状のまち並みを改善し、県都の顔としての風格を備えた緑豊かな美しいまち並みを形成する。

さらに、まちなかを周遊する交通体系と郊外から人を呼び込む交通体系を再構築する。

## III 自然を守り、緑や水と共生するまち

足羽山、足羽川がまちなかに位置し、都市の骨格を形成することは、県都の大きな特徴である。足羽川は、かつて城郭の一部として軍事的防御の機能を担った。舟運を担う産業の軸として機能した。山里から海へと自然をつなげ、足羽山とともに多様な生態系を形成してきた。また、足羽山の麓や足羽川周辺は、福井藩士等のゆかりの旧跡や、神社参道、料亭街等として発展した文化を残す。

足羽山、足羽川を、まちのシンボルとして、将来にわたり自然を守り、歴史と文化を楽しむ場として活かす。また、足羽山、足羽川に象徴される緑をまちなかへと広げ、緑や水と共生するまちを形成する。

# 3 県都まちづくりの方向性と具体的方策

## 方向性と具体的方策

### I 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する県都

方向性	具体的方策
1. 福井城址を中心とした、歴史を象徴し、人が集まる空間の形成	①城址、中央公園などを一体化した「福井城址公園」の整備
2. 地域の歴史を実感できる まち並みの形成	①幕末の旧跡等を活かした新たな歴史の拠点と回廊の形成 ②時代を物語る近代建造物の保全・活用 ③地域ごとの歴史を活かした景観形成 ④城下町の名残を旧町名、通りの名称として復活
3. 文化を育て、発信する県都の実現	①福井城址公園周辺における芸術・文化拠点の形成 ②福井の「食」を集め、食文化を発信する拠点の形成 ③新たな活動を生み出す若者等のための空間の形成

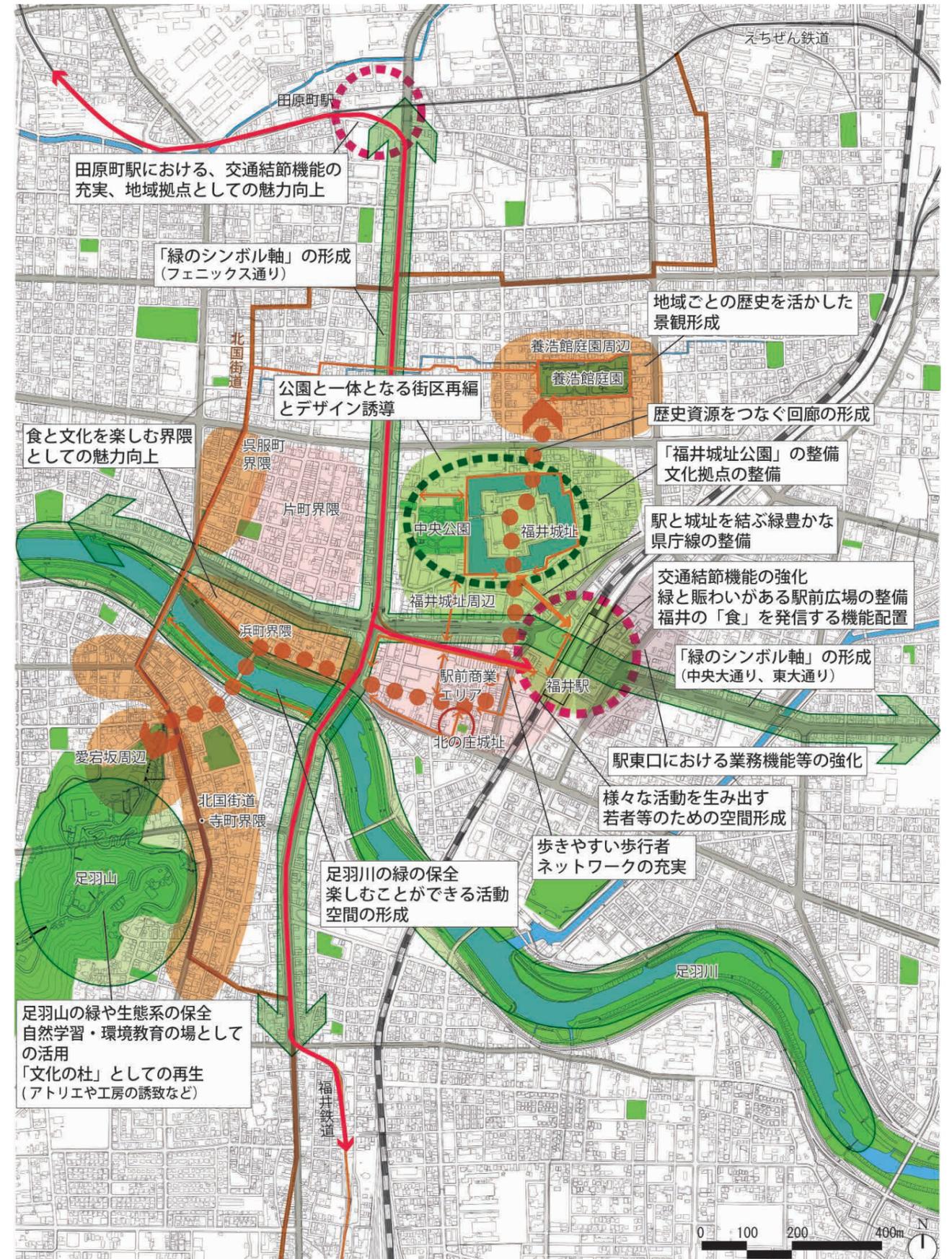
### II 美しく持続可能な都市

方向性	具体的方策
1. 緑豊かな風格ある都市への再編	①県都の顔となる玄関口の再整備 ②都市の骨格となる「緑のシンボル軸」の形成 ③駅・城址周辺の街区の再構築、景観形成 ④まちなかの魅力を高める新たな土地利用
2. 人や環境に優しい交通と コンパクトな都市構造の実現	①駅を中心とする交通機能の強化、都市機能集積の活用 ②都市構造を形づくる東西・南北公共交通の強化、定住誘導 ③歩きやすく雨・雪に強い歩行者空間の形成 ④まちなかの移動に便利な交通ネットワークの形成

### III 自然を守り、緑や水と共生するまち

方向性	具体的方策
1. シンボルとしての足羽山、足羽川と 緑がつながる空間の形成	①自然を楽しみ、学ぶ場としての活用と緑・生態系の保全 ②足羽山・足羽川の眺望を守り、緑をつなぐ景観づくり
2. 文化と活動の空間としての 足羽山、足羽川の再生	①「文化の杜」としての足羽山の再生 ②水辺と桜堤を活かした足羽川における活動空間の形成 ③食と文化を楽しむ空間としての足羽川周辺の魅力向上

## 県都デザイン戦略の全体像



## I 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する県都

### 1. 福井城址を中心とした、歴史を象徴し、人が集まる空間の形成

#### ① 城址、中央公園などを一体化した「福井城址公園」の整備

県庁舎、市庁舎を移転・再配置し、福井城址、中央公園、県民会館跡地およびその周辺を、福井城址公園として再編する。歴史を偲ぶ空間（御門、櫓、天守閣等の復元、御座所の遺構活用等）、憩いの空間（豊かな緑と開放的で明るい空間整備等）、活動・文化の空間（芸術・文化の拠点の配置等）の3つの機能を持った空間を段階的に整備する。

##### ◇県民会館跡地周辺における石垣を活用した公園の先行整備

- ・石垣を活用し、城址と中央公園の一体性を高める先行整備、山里口御門を復元整備 [短期]

##### ◇「福井城址公園」の整備

- ・県庁舎、市庁舎を移転・再配置、城址、中央公園、その周辺エリアに範囲を拡大した「福井城址公園」を整備 [長期]



### 2. 地域の歴史を実感できるまち並みの形成

#### ① 幕末の旧跡等を活かした新たな歴史の拠点と回廊の形成

幕末から明治維新に活躍した福井藩士など偉人にまつわる旧跡や、城郭の御門の場所などを活かした、新たな歴史の拠点を形成する。また、これらの歴史資源と養浩館庭園、福井城址、北の庄城址、愛宕坂などをつなぐ回廊を形成する。

##### ◇旧跡、御門周辺を活かした新たな観光ポイントの形成

- ・異人館跡、由利公正宅跡等の旧跡を活かし、幕末の歴史が感じられる歴史散策エリアを形成 [短期～]
- ・旧跡整備や養浩館庭園等がかつての姿に戻す拡大整備 [中期～]

##### ◇歴史資源をつなぐ回廊の形成

- ・案内サインの充実や道路舗装の連続化 [短期]
- ・名所旧跡・まち並みライトアップによる夜間景観の創出 [短期]
- ・歩道の広幅員化、通り沿いの景観づくり [中期]



#### ② 時代を物語る近代建造物の保全・活用

都市の近代化を物語る歴史的な建造物を、地域の財産として保全・活用する。

##### ◇歴史的建造物の保全・活用

- ・歴史的建造物がまち歩きのポイントとなるよう演出（ライトアップ、サイン整備等） [短期～]
- ・文化財や景観重要建造物等に位置づけるなど、地域の資産として保全 [短期～]
- ・市民とともに活用策を検討し、建造物を保全・活用 [中期～]

#### ③ 地域ごとの歴史を活かした景観形成

福井城址や養浩館庭園、愛宕坂など歴史資源の周辺や、城下町の歴史が建物の用途や形態、商いの形として残る地区を、歴史的界隈として位置付け、それぞれの地域の歴史や特徴を活かした景観づくりを行う。

##### ◇各界隈における景観づくり

- ・各界隈について、景観形成ルールの策定とそれにもとづく景観誘導、無電柱化や夜間景観の形成等を推進（養浩館庭園周辺、浜町界隈、愛宕坂周辺、北国街道・寺町界隈、呉服町界隈、福井城址周辺など） [短期～]

#### ④ 城下町の名残を旧町名、通りの名称として復活

城下町としての歴史や広がりを実感できるように、福井城址周辺～旧北国街道沿い等のエリアにおいて、城下町の旧町名を復活する。また、城址周辺の通りを、百間堀通り、堀端通りなど、堀の記憶を映す名称に変更する。

##### ◇城下町の旧町名の復活

- ・シンポジウムや銘板設置等による機運の醸成、地域住民の合意が図られた地区から、順次、旧町名を復活 [短期～]

##### ◇城下町の記憶を映す通りの名称への変更

- ・城址周辺の通り等の名称を堀の記憶を映す名称に変更 [短期]

## 3. 文化を育て、発信する県都の実現

#### ① 福井城址公園周辺における芸術・文化拠点の形成

福井の芸術・文化を育て、県内のものづくり文化を発信する新たな拠点を整備する。子どもから大人までが芸術・文化に触れ合い、創作的な活動を行う機会を創出する。

##### ◇ものづくりデザインの発信、まちづくりへの活用

- ・優れたデザインのものづくり等、県内の産業・文化を発信し、魅力を伝える店舗やギャラリー設置を促進 [短期]
- ・新駅舎内装等、玄関口となる建物内に漆や和紙などの伝統工芸の活用を促進 [中期]

##### ◇城址公園周辺への文化拠点の配置

- ・城址公園周辺に新たな芸術・文化を創造する文化の拠点を整備 [長期]

#### ② 福井の「食」を集め、食文化を発信する拠点の形成

旬の農林水産物が買え、福井を代表する料理が楽しめる拠点を整備するなど、福井の「食」を発信する機能を充実する。

##### ◇「食の拠点」の形成

- ・福井駅周辺に、「食の拠点」の整備を促進 [短期]
- ・新駅舎や高架下等、新たな場所を活用した拠点の整備を促進 [中期]

#### ③ 新たな活動を生み出す若者等のための空間の形成

若者等が、文化・スポーツ、まちづくり活動、新たなビジネス等を展開しやすいまちなかの空間を形成する。

##### ◇若者等が活動するための場の創出

- ・駅周辺の空き店舗、空きビル等、都市のストックを有効活用し、若い世代が新しい活動を始めるための利活用を促進 [短期]
- ・西口再開発ビルの屋根付き広場を、多くの人が利用しやすい場となるよう、市民等と協働で運営体制を構築 [短期～]
- ・高架下を、スポーツや文化活動、イベント等、若者等が活動しやすい広場として利用 [短期～]
- ・国体に向けて、ジョギングやウォーキングを楽しめるコースを設定するなど、スポーツに親しみやすい環境を形成 [短期～]

## II 美しく持続可能な都市

### 1. 緑豊かな風格ある都市への再編

#### ① 県都の顔となる玄関口の再整備

県都の玄関口として、福井の風景や歴史を想起させ、人が集まる、緑と賑わいのある駅前広場を整備する。また、駅と福井城址、駅の東西を結ぶ歩行者の動線を整備する。

##### ◇駅西口広場の整備

- ・西口再開発ビル、屋根付き広場、交通結節機能が一体となった駅西口広場を整備 [短期]

##### ◇駅と城址をつなぐ軸の形成

- ・歩行空間の拡充、緑陰やにぎわいのある県庁線を整備 [短期]



駅西口広場の完成イメージ



県庁線の整備イメージ

#### ② 都市の骨格となる「緑のシンボル軸」の形成

戦災・震災復興によりつくられた豊かな都市インフラを活かし、都市の骨格となる東西・南北の大通りを、車優先の道路空間から歩行者中心の空間へと転換し、四季を感じられる緑豊かなシンボル軸をつくる。

##### ◇街路樹整備による緑豊かな通りの形成

- ・中央大通り、東大通り、フェニックス通りの緑化整備 [短期]

##### ◇緑と調和した道路景観の形成

- ・街灯やバス停、電停等を緑と調和するシンプルなデザインに統一 [短期～]



中央大通りの緑化整備イメージ

#### ③ 駅・城址周辺の街区の再構築、景観形成

福井城址公園から広がる地区として重要な駅・城址周辺を、建物の更新時期を捉え、経済、行政機能の中心地として再構築する。また、緑の空間や堀を想起させる水辺など城址と一体となった、美しく風格あるまち並みを実現する。

##### ◇建物の更新時期を捉えた街区の再構築

- ・中低層の再開発、共同建替え、低未利用地の集約等、街区の再構築手法の検討 [短期]
- ・街区の再構築を誘導 [中期～]

##### ◇城址と一体となるまち並み景観の形成

- ・地権者や事業者とともに景観づくりを検討 [短期～]

##### ◇駅東口における業務機能等の強化

- ・県内外企業の本社・支社機能の集積など業務機能を向上 [中期～]
- ・郊外観光地へのバス等、県外客等のための2次交通機能を向上 [中期～]



街区の再構築、業務機能等の強化を検討する地区

#### ④ まちなかの魅力を高める新たな土地利用

まちなかに増加しつつある低未利用地（空地や駐車場等）を、緑の広場としての利用や、将来の活用策を探るための暫定活用等により、まちなかの魅力を高める公共性の高い空間に転換する。

##### ◇低未利用地の利用転換

- ・城址周辺等の低未利用地を、将来の更なる利用転換も視野に暫定的に有効活用 [短期]
- ・低未利用地の広場化等の社会実験を行い、土地利用転換を波及・促進 [中期～]



低未利用地の活用イメージ

## 2. 人や環境に優しい交通とコンパクトな都市構造の実現

### ① 駅を中心とする交通機能の強化、都市機能集積の活用

福井駅、田原町駅における鉄道、バス等、交通機能結節を強化する。田原町駅周辺については、大学やフェニックスプラザ、図書館、体育館等の集積や公共交通結節機能を活かし、集い・交流のできる拠点としての魅力を向上する。

#### ◇福井駅の交通結節機能の強化

- ・東西広場の整備による鉄道、バス等の交通結節機能を強化し、利便性を向上 [短期]
- ・駅周辺における観光バス等の駐車場の利便性向上、郊外観光地等へのアクセス向上 [短期]
- ・えちぜん鉄道の高架化による駅東西市街地の一体化と交通の円滑化 [短期]

#### ◇田原町駅周辺の拠点性の向上

- ・福井鉄道、えちぜん鉄道の相互乗入を実現し、駅舎を整備 [短期]
- ・駅前広場、文教・交流施設の更新・再配置等により、田原町駅周辺の交流拠点としての魅力向上 [中期～]

### ② 都市構造を形づくる東西・南北公共交通の強化、定住誘導

福井駅を中心とした基幹的な公共交通体系と、それを補完する細やかで利用しやすい公共交通網を整備し、子育て世代から高齢者まで、多様な世代の沿線への居住を誘導する。

#### ◇公共交通体系の再構築

- ・福井駅から伸びる放射状の公共交通幹線軸の充実 [中期]
- ・幹線軸を補完する交通網を整備・充実 [中期]
- ・公共交通幹線軸の強化、福井駅から東西への新たな路線の整備 [長期]

#### ◇公共交通網周辺の居住誘導

- ・インセンティブ付与によるまちなか居住推進 [短期]
- ・公共交通幹線軸の強化と、沿線への居住や都市機能の立地誘導 [中期～]



交通体系イメージ

### ③ 歩きやすく雨・雪に強い歩行者空間の形成

子どもや高齢者、観光客、外国人等、多様な歩行者が歩きやすく、雨・雪に強い歩行環境を整備する。駅を中心に、豊かな緑陰や歴史の回廊、商業エリアの賑わいと一体となった、歩いて楽しめるまちを形成する。

#### ◇歩きやすい歩行者空間の形成

- ・駅・城址をつなぐ道路や城址周りの整備、雨や雪に濡れずに乗り換えのできる駅前広場の整備 [短期]
- ・アーケードや無散水融雪等による雪に強い環境づくり、道路空間再配分による歩道整備や歩行者優先エリア形成 [中期]

### ④ まちなかの移動に便利な交通ネットワークの形成

主婦や高齢者、観光客の買い物や散策等のための短距離移動手段として、自転車や超小型EV等を利用した交通システムを整備し、健康で環境に優しいまちを形成する。

#### ◇自転車を利用したくなる環境整備

- ・交通結節点、公共施設、観光施設等への駐輪場配置 [短期]
- ・短時間利用を想定したサイクルシェアリング導入 [短期]
- ・道路空間再配分等による自転車専用レーンの設置等、自転車ネットワークを形成 [中期～]

#### ◇まちなかの短距離移動を担う超小型EVの利用環境整備

- ・社会実験を実施しながら、自動車から超小型EVへの利用転換を促す環境を整備 [中期]

### III 自然を守り、緑や水と共生するまち

#### 1. シンボルとしての足羽山、足羽川と緑がつながる空間の形成

##### ① 自然を楽しみ、学ぶ場としての活用と緑・生態系の保全

足羽山、足羽川を、まちなかに隣接する里山や水辺として、市民や子ども達の学びの場として活用する。より親しむことができる環境や仕掛けをつくり、貴重な緑や生態系、四季を感じられる自然の風景を、市民全体で使いながら守る。

###### ◇四季を通じた花と緑の風景の形成

- ・足羽山におけるアジサイ、モミジ等の植樹や常緑樹の間伐 [短期]
- ・足羽川における草花の植栽、景観舗装 [短期]
- ・足羽川の桜堤の保全・再生 [中期～]

###### ◇自然学習等の場としての足羽山の環境整備

- ・自然史博物館を中心に足羽山を学びの拠点として活用 [短期～]
- ・環境教育や高齢者等も含めた健康づくりに利用できる歩きやすい散策環境等を整備 [短期～]

###### ◇里山保全の体制づくり

- ・足羽山の市民による間伐や美化活動等を活発化 [短期]
- ・足羽山を「市民の里山」として活用・管理できる仕組みを構築 [中期～]



自然学習の場としての利用促進



散策環境のイメージ

##### ② 足羽山・足羽川の眺望を守り、緑をつなぐ景観づくり

足羽山・足羽川の眺望を守り、まちなかに緑が広がる都市空間を実現する。

###### ◇足羽山、足羽川の眺望景観の保全と創出

- ・まちなかから足羽山への眺望景観保全（建築物や屋外広告物の高さの誘導等）、足羽山から緑がつながる市街地の眺望景観創出のための、ルールづくりと景観誘導 [短期～]

#### 2. 文化と活動の空間としての足羽山、足羽川の再生

##### ① 「文化の杜」としての足羽山の再生

足羽神社の参道として栄え、文化人が集まった歴史を踏まえ、創作的な活動ができる文化空間を形成する。

###### ◇「里山アート・ミュージアム」の形成

- ・森を舞台とした環境アートイベント等、小中高生等の創作活動の場として利活用 [中期～]
- ・愛宕坂へのアトリエや工房の誘致をはじめとした施設の再整備等 [中期～]

##### ② 水辺と桜堤を活かした足羽川における活動空間の形成

水辺を活かして、親子で遊び、楽しむことができる環境を形成する。

###### ◇親水空間の整備

- ・船着場の浚渫や散策空間の再整備等、水辺環境を整備 [短期]
- ・東公園に親水空間を整備 [長期]



活動空間としての活用イメージ

##### ③ 食と文化を楽しむ空間としての足羽川周辺の魅力向上

足羽川の水辺と浜町等の足羽川周辺を活かし、文化的な雰囲気の高い界隈を形成する。

###### ◇食文化を活かしたおもてなし空間の形成

- ・水辺や桜を眺める川床の設置や浜町周辺の景観整備 [短期]

###### ◇歴史を活かした拠点整備

- ・異人館や時鐘楼、三秀園等の歴史的建造物を活かし、文化空間を形成するための構想を策定し、順次整備 [短期～]

### 意識を醸成し、協働する仕組みづくり

#### ① 県民、市民とともに公共空間をつくりあげる仕掛けづくり

公園や道路景観等の整備段階では、ワークショップや社会実験等により、県民、市民とともに考えながら公共空間を整備する。これにより、まちづくりに対する県民、市民の意識を高め、より愛着を持って利用される公共空間整備を実現する。

#### ② 城址の復元等に対する寄付の募集

城址などの歴史的シンボルの復元等に対する寄付募集等を行い、県民、市民、企業や団体の参加と協力のもとで整備を進める。

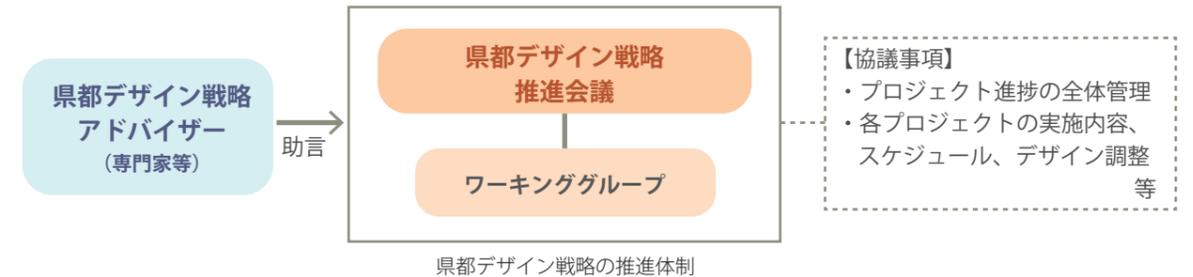
#### ③ まちづくりの将来像や情報の共有

県民、市民に、県都におけるプロジェクトの進捗状況やまちづくりの情報を発信する場や仕組みをつくる。さらに、大学、まちづくり団体、企業、市民等がまちづくりの情報を共有、提案をしながら、将来像を共に考えるためのプラットフォームとなる拠点を設置し、学生をはじめとしたまちづくりに関する活動の場として活用する。

### デザインマネジメントの徹底

#### ① 県都デザイン戦略の推進体制

県、市による県都デザイン戦略推進会議を設置し、プロジェクトの実施内容やスケジュールについて調整しながら一体的に推進する。



#### ② 民間・公共の空間デザインに対するマネジメント体制

民間の敷地・建物や公共空間を整備、再編するこれからの事業の実施にあたって、将来にわたり、質が高く一貫性のある都市デザイン等を担保するため、専門家等による第三者機関を設置するなど、各事業の設計段階からデザイン調整を行う体制をつくる。

### 県内外からの英知を集め、空間デザインに活用

#### ○ プロジェクトの実施にあたってのデザインコンペ

公共建築デザインや公園等の公共空間デザインについてコンペを実施し、優れた空間デザインを実現する。福井のPRによる観光客増加といった副次的効果や、審査に市民を巻き込むことによる意識醸成等の効果を発揮するよう、実施方法を工夫する。